

電力地産地消プラットフォームの運営開始について

協定締結4者^(※)で構築を進めてきた電力地産地消プラットフォームが、4月から運営を開始します。市域レベルでのエリアエネルギーマネジメントとして全国でも先進的なモデルであり、エネルギーの地産地消の促進により、脱炭素と地域経済好循環につなげていきます。

※小田原市、東京電力パワーグリッド(株)、東京電力ホールディングス(株)、湘南電力(株)

電力地産地消プラットフォームのイメージ図

市内の住宅・事業所が、
“地域発電所”になる

地域の再エネ電力を
選択できる

